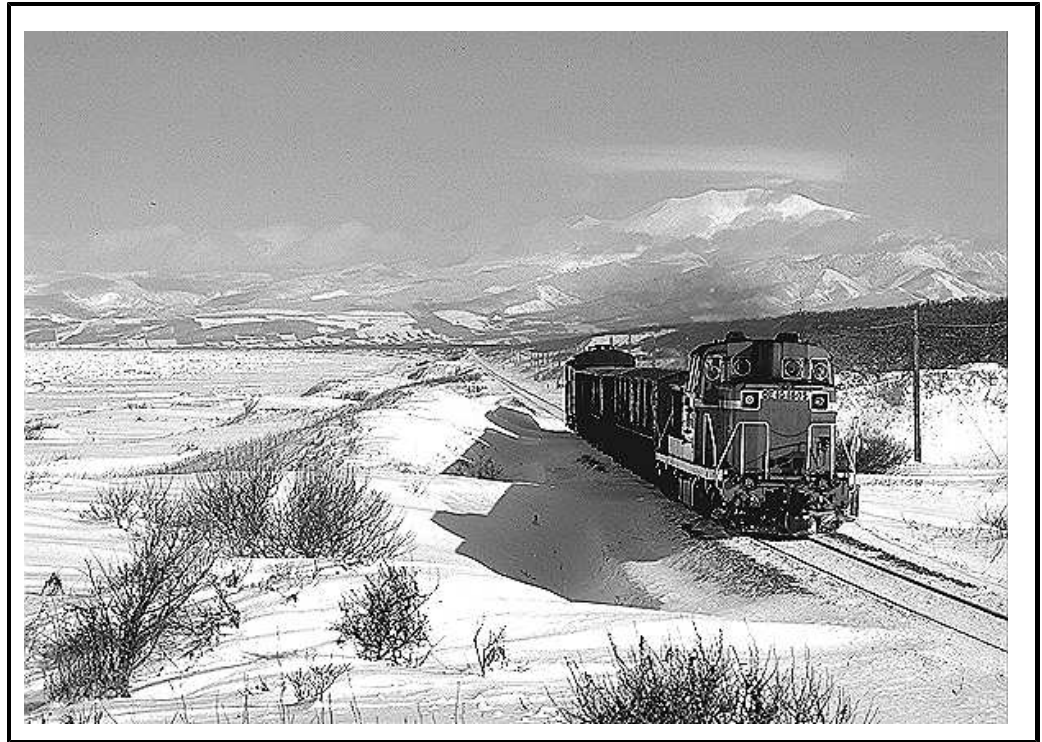


鉄道研究会の本懐を遂げる

鉄道の写真館

かずたろう

Vol. 1 釧網線の貨物列車



釧網線 止別—斜里 1985,2,26 撮影

冬の北海道です。

左手側は氷結したオホーツク海、奥は知床半島です。

この日は快晴で雪の乱反射で非常にまぶしかったことを記憶しています。周辺の牧場では牛たちが日光浴をしていました。のどかな風景の農道を歩き、そこから道なき道をわっせわっせと雪かきしながらポイントへ向かいました。

線路の見渡せる丘の上で待つこと数時間！数km先の斜里駅から列車がやってくるのが見えました。しかしなかなか近づいてきません。線路からゴトゴトッという走行音も響いてきます。そしてようやく列車がやって来ます。フレームの中のココと決めていた場所に列車が入り込んだ瞬間、シャッター。ヨッシャという手応えの余韻に浸るまもなく列車は通過していくのです。

帰りは線路伝いに駅へ戻りましたが（良い子は真似しないでね）、後ろから轟音とともにラッセル車がやって来てビビりました。線路の周りは雪の壁ができていて逃げ場が少ないのです。まあ何とか逃げて、今も生きてます。

うーん、恐ろしいことに、この写真を撮ってから10年も経っているのですね。